



大方中央保育所



「保育所は楽しいな！」

明日は何してあそぼうかな」

江口 千寿

笑顔あふれ、安心感を抱ける保育所をめざして

大方中央保育所は、旧中央保育所、早咲保育所、浜松保育所、上田の口保育所が統合し、10年前に大方中央保育所として設立されました。

高台に位置し、近くには入野小学校、大方中学校、大方高校があります。

今年度4月当初は105名でのスタートでしたが、12月現在は115名となりました。町内で唯一の年齢別保育が実施されています。園内には、地域子育て支援センターも併設され、親子で楽しむ場になっています。また、一時保育預かり事業では、地域の未就園児をお預かりしています。

◆地域とともに

・保・小・中・高との連携

保育所の近くには高校までの公共施設が整っている立地条件の中、地震を想定した合同避難訓練、学

習交流、体験学習、吹奏楽部の訪問演奏会、夏には小学校のプールにも入らせてもらうなど、さまざまな交流を行なっています。



・給食試食会

「保育所では、どんなものをどんなふうに使っているのかな」「味や見た目は」「家では野菜を食べないのに保育所で食べているのはなぜ」、そんな疑問を持つ保護者も少なくありません。毎年6月に給食試食会を開き、参加保護者の疑問に答えるなど食について語る場となっています。

「おいしい」「来年も参加したい」「家でも作ってみる」と好評です。「おいしいな」を目標に、安心・安全な食に配慮しながら取り組んでいます。

・高齢者との交流

「あつたかふれあいセンターにしきの広場」とは年間を通して全クラスが触れ合い交流をしています。

す。抱っこしてもらったり、自己紹介、歌や踊り、手遊びなどを披露して、楽しんでもらっています。また、子どもたちの存在そのものを喜んでいただき温かく接してくださいと、やさしいわりの気持ちなども育ててもらっています。



・ラッキョウ体験

毎年、地域や保護者の方をお願いをし年長児がラッキョウを掘りに行かせてもらっています。

洗う、切る、漬ける作業を経験しできあがったラッキョウをみんなでいただきます。

ラッキョウ体験を通して地場産業のひとつを経験しています。

・ふるさとへの思い

保育所での楽しい遊びやさまざまな経験が子どもたちの心に残り「自然が好き」「友だちが好き」「自分たちの町が好き」と言える子どもに育ってほしいと願っています。

